

健生くらぶ

vol.18
平成23年 秋



院内部署紹介 眼科



私達は、物を見るための大切な目に対して、皆様の手助けをさせていただければと、最新式の機械を導入して、気付かないいろいろな目の病気をみつけ、治療および目に対してのご相談を受けたいと思います。

一度、目の健康診断を受けてみてください！スタッフ一同お待ちしております。

CONTENTS

目次

Page 1 院内部署紹介:眼科

Page 2 新任先生紹介 小野Dr・梅谷Dr

Page 3 デイサービスセンターけんせい 夏祭り

Page 4・5 【健康「呼吸器疾患と咳」
コラム】呼吸内科 井上 順

Page 6 外来診察表、あとがき

医療法人社団 医王会

朝倉健生病院

発行日/2011年(平成23年)10月15日 発行者/医療法人 社団 医王会 朝倉健生病院
〒838-0068 福岡県朝倉市甘木151番地4 Tel.0946-22-5511代 Fax.0946-22-1200 URL:<http://www.a-kensei.jp>

新任医師紹介



眼科
小野 英尚

2011年4月より朝倉健生病院に赴任しました。

朝倉健生病院では4月末に眼科を開設し、約半年が経ちましたが、少しずつではありますが、患者様ひとりひとりにあった治療で朝倉地区の眼科医療に貢献したいと思っています。

白内障を含む眼科手術に関しましては、年内には開始できるように、手術室スタッフや病院事務と調整をいたしております。また、詳細がわかりましたら、随時ご報告いたしますので、眼科外来までお問い合わせください。

当科の特徴・特色

1. 朝倉地区の中核病院を担うべく、最新の医療を取り入れ、高度な医療を提供できるよう心がけています。
2. 当地域は緑内障の方が多く、眼圧・視野・眼底検査などを行い、早期発見・管理、早期治療に努めています。
3. 糖尿病網膜症につきましては、糖尿病内科、腎臓内科の先生と連携し、網膜症の早期発見、管理に努め、進行した網膜症の方にはレーザー光凝固術を行っています。
4. 加齢性黄斑変性症の画像診断、治療も行っております。また、結膜炎など他の眼科疾患の検査、治療や眼鏡、コンタクトレンズの処方も行いますので、お気軽にご来院のうえご相談ください。



糖尿病内科
梅谷 洋介

2011年6月11日より糖尿病内科の常勤として赴任致しました。

糖尿病は戦後豊かになるにつれ急激に増加し、今でも増加し続けています。糖尿病の人や糖尿病が強く疑われる人は890万人、糖尿病が否定できない人を含めると2210万人にもなります。しかし、無症状のために放置されたり、治療が中途半端なために、後に慢性合併症や動脈硬化性疾患を引き起こし、心臓病・脳卒中・失明・腎不全・足壊疽などに苦しめられる方が大勢おられます。糖尿病が進行し合併症が出ると、医療費がかさみますし、特に脳卒中から寝たきりになれば、ご本人が辛いのは勿論、ご家族にも大きな負担がかかります。そのためできるだけ病初期（境界型糖尿病の段階から）の生活習慣の改善・治療・教育にも力を入れ、看護師、管理栄養士、薬剤師らとともに糖尿病教室の充実、チーム医療の実践に力を入れたいと考えています。また、甲状腺・副腎・下垂体疾患も専門としております。

デイサービスセンターけんせい 夏祭り

デイサービスセンターけんせいでは、8/24・
8/25と夏祭りを行いました。

今年は、そば打ちの実演と体験をしています。
打ったそばは、その場で茹でて昼食に美味しく
頂き、その他、かき氷や綿菓子を食べたり、ヨ
ーヨー釣りを楽しみました。



こきゅうきしかん
「呼吸器疾患と咳」

せき

呼吸器内科 井上 順

今回は呼吸器疾患として多く診察する機会が多い“咳”についてお話しします。

日常の外来診療で多く遭遇する訴えの一つが咳ですがその原因は様々です。

【問診で大事な事】

咳を訴え来院された患者さんの多くは担当された先生に様々な質問をされた経験があるかと思われます。呼吸器疾患ではこの問診が診断上非常に大切です。

タバコは吸っているか？ 内服中の薬はあるか？ ペットは飼っているか？ いつから？ どんな咳（痰がからむか？ コンコン言うだけか？ どんな痰が出るか、一日中か？ 出易い時間帯があるか？ など）等、医師は推理するように様々な質問を行いこれらの情報から病気を絞り込んでいきます。

【湿性咳】

通常多くみられるのが湿性咳（痰を伴う咳、痰が切れ難いなど）でこれは上気道炎（いわゆる風邪症候群）、肺炎、（急性、慢性）気管支炎などの下気道（喉から下の気管）の感染症が原因の事が多く見受けられます。これらの診断は上記の問診や診察、検査（採血、胸部レントゲン、喀痰検査など）での診断で比較的速やかに診断され原因疾患の治療と言う流れになります。

【乾性咳】

これに対し乾性咳（痰を伴わずコンコン言う咳）の診断には苦慮する場合が度々あります。通常は風邪症候群や咽喉頭炎など比較的上気道（喉の周辺）に炎症がある場合が多いのですが、それら意外にも異型肺炎（マイコプラズマ肺炎など）や気管支喘息（咳喘息）が原因であることも多く経験します。特にマイコプラズマ肺炎はこれまでは比較的健康で若い年代、集団発症、4年に一度の流行などの特徴があるといわれていますが最近では周期はあまり関係ない印象です。咳や微熱があり病院にかかり、気管支炎、肺炎などと診断され抗生剤などの内服治療を開始されたが改善なく症状が悪くなるために病院へ来た、紹介されたなどの経過が多く、これも問診、検査などにて疑いを持ちますが、確定診断を得られない場合がある事、（血清学的診断やDNA検査による診断に時間がかかる）それまでに医師の経験的治療が開始されます、この肺炎には特定の抗生剤



しか効果がなく初診時に強く疑う、経験的治療の開始と言う部分が非常に重要となります（当院でも今年夏には比較的多く遭遇した肺炎です）。

咳喘息とは遷延性咳（約二ヶ月位しつこい咳が継続する）の原因として医師の間でも認知されることが多くなったのですが、それまでは上気道炎、気管支炎などと診断され鎮咳剤など（咳止め）を長期処方することで対処されてきたような疾患です（ここ何年かで咳しか出ない喘息もあるとその概念が確立されつつあります）咳喘息の咳にも問診が重要な診断手段となります。多く見られるのがアレルギー歴（気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー歴など）がある、感染に関係なく一定の季節性がある、一日のある時間帯で強さが変わる（夜間に強くなるなど）、特定の場所ででるなどのキーワードなどから疑いをもちます。もちろん初診時の段階では採血や胸部レントゲン検査などで他の疾患を除外して行く除外診断の過程も重要で、これらの検査に加えアレルギー検査なども加えより診断確定へと流れなるのですが、この疾患もまた最終的には医師の経験的治療が重要となります。咳とは言え喘息でありますから当然喘息の治療（ステロイド、気管支拡張剤の吸入など）が効果があります、この場合は比較的速やかに改善します。



この他遷延性咳の原因としては咳喘息以外では風邪、気管支炎の改善期にも乾性咳が多く見られます。現在では喘息と同様にステロイド吸入療法などが効果があるとされています。

この他、呼吸器疾患以外でも遷延性咳はみとめられることがあります。例であげるならば逆流性食道炎なども意外な疾患ではありますが、しばし経験する機会があります。この他にも咳の原因となる疾患は様々で多様です。

【咳がなかなか治らない方は！】

市販の薬や近所の病院で薬を処方してもらったが、なかなか咳が治らない方は是非当院へご相談下さい。

朝倉健生病院外来診察担当医一覧

平成23年10月5日現在

診療科名		月	火	水	木	金	土
内科	総合内科	午前	鷺淵	鷺淵	鷺淵	鷺淵	鷺淵
		午後					
	呼吸器科	午前	井上・木村	井上	木村	井上	木村・井上(2・4)
		午後		井上	木村		
	消化器科	午前		大谷	大谷	大谷	大谷
		午後					
	糖内科	午前		佐藤	梅谷	梅谷	梅谷(1・3・5)
		午後	梅谷	佐藤			
外科		午前	梶原	緒方	梶原	梶原	梶原
		午後	梶原	緒方	梶原	梶原	
脳外科		午前	川原	山本	山本	山本・川原	山本(2・4・5)川原(1・3)
		午後	川原	川原	山本	山本・川原	
整形外科		午前	佐々木・秋元	元吉	佐々木・秋元	秋元・元吉	坂梨
			元吉	元吉		坂梨	
		午後	元吉・古賀	古賀・元吉	元吉	坂梨・古賀	古賀
泌尿器科		午前	中村	中村	中村	中村	中村
		午後	中村	中村	石井	中村	
眼科		午前	小野	小野	小野	小野	小野
		午後	小野	小野	小野	小野	
皮膚科		午前	谷川	谷川	谷川	谷川	谷川
		午後	谷川	荒川	谷川	谷川	
耳鼻咽喉科		午前		井手			井手
		午後		井手			井手
専門外来		午前	田代(循環器) 藤岡(心血外)	吉田(胸部外科) 今永(腎内科)	戸伏(循環器) 藤岡(心血外)	中野(循環器) 藤岡(心血外)	(血管外科)
		午後		吉田(胸部外科) 今永(腎内科) 山田(消内)	中野(循環器) 今永(腎内科) 戸伏(循環器) 雑賀(形成外科)		

注)学会等で予告なく変更や休診になることがあります

■あとかぎ

山々が色づき、朝晩の涼しさや日の短さに秋の訪れを感じられるようになりました。

秋は一年の中で、特に旬を感じる食べ物が多い季節ではないでしょうか。秋らしい野菜、果物、魚類、お菓子と私たちの味覚を楽しませてくれます。柿が赤くなると医者が青くなるという言葉があるように、旬の食べ物は美味しいだけでなく栄養もたくさん含まれています。

旬の味覚を食べ、秋の夜長に睡眠をとり、寒い冬に向けて万全に備えたいと思います。 重富



医療法人 社団 医王会 朝倉健生病院 広報誌 **健生くらぶ** VOL.18

発行日：平成23年10月15日 診療科目：

発行 者：朝倉健生病院
 広報編集員：月俣・黒田・古川
 空閑・重富・原

内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科
 糖尿病内科/腎臓内科/脳神経内科/神経内科
 外科/消化器外科/肛門外科/整形外科
 脳神経外科/形成外科/胸部外科/心臓血管外科
 皮膚科/泌尿器科/泌尿器科(人工透析)
 人工透析内科/人工透析外科/放射線科
 耳鼻咽喉科/眼科/リハビリテーション科

診療時間：

平日 8:45～17:30
 土曜日 8:45～12:30

休診日：

日曜・祝祭日

※急患は年中24時間対応いたします